



準優勝の実花小学校区



優勝の向山・谷津南小学校区



第3位の藤崎小学校区



第3位の谷津小学校区

向山・谷津南小学校区V

モリシア杯少年野球大会

第37回モリシア杯「習志野市小学校区対抗少年野球大会」が10月8日と10日、第一カッター球場ほかで開かれた。

大会はモリシア杯少年野球実行委員会の主催で行われた。開会式では、大会会長を務めるモリシア津田沼の杉山浩一館長が球児たち

「さい」とエールを贈った。選手代表の東習志野小学校区チームの後藤亮介主将が「ぼくたち選手一同は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、ぼくたちを支えて下さるすべての方々に感謝の気持ちを込めて、最後の一球まであきらめず、正々堂々、全力で戦うことを誓います」と力強く宣誓した。

大会では13チームによる、熱戦が展開され、向山・谷津南小学校区が優勝を飾った。向山小学校区としては1993(平成5)年以来、谷津南小学校区としては1996・7(平成8・9)年の2連覇以来、優勝回数は通算4回となった。

大会結果は次の通り。

▽1回戦

谷津小9―8 津田沼小
鷺沼小8―2 大久保小
屋敷小3―1 秋津・香取
実花小11―4 狹間・京
藤崎小9―2 大久保東小

▽2回戦

谷津小4―1 東習志野小
実花小10―6 鷺沼小
実花小10―1 屋敷小
藤崎小10―0 実花小

▽準決勝戦

実花小10―3 谷津小
実花小5―0 藤崎小

▽決勝戦

実花小学校区

120000 3

100300 4

向山・谷津南小学校区

▽バッテリー―中基、中

原、糸山―糸山、中基(実

花)村田、島田、小林、柳

瀬―扇(向山・谷津南)

▽本塁打―田中(向山・

谷津南)

▽二塁打―五十嵐(実

花)田中(向山・谷津南)

【後記】

決勝戦は実花小学校区と向山・谷津南小学校区との顔合わせとなった。

1回表、実花は1番糸山の左前安打、2番井口の中前安打で走者一、三塁とし、3番高橋の内野ゴロで糸山がかえり1点先取。1回裏、向山・谷津南は1番田中が右中間二塁打。二死となるが、4番村田の内野ゴロがエラーを生み、田中がかえり同点とする。2回表、実花は7番海老根が死球で出塁。8番五十嵐の左越二塁打で海老根がかえり、糸山の内野安打と盗塁で二死走者二、三塁。井口の打席、悪投球で五十嵐がかえりこの回2点を奪う。3回表には二死ながら満塁の好機を迎えるが、向山・谷津南は捕手・扇の好捕もあり、継投良く、得点を許さない。

向山・谷津南の反撃は4回裏、8番高橋の左前安打、2回から代走で入った9番浅野の左中間安打で一死走者一、三塁。田中の打席、悪投球で高橋がかえり1点。田中は2点本塁打で逆転を果たし、これが決勝点となり、勝利した。

向山・谷津南小学校区の小林一希キャプテンは「いままであと一歩で優勝できなかった悔しさを糧に今日まで練習をしてきました。決勝戦では、リードされていたものの、最後まであきらめずチーム一丸となって戦ったことが逆転につながりました。小学生最後の市内大会で最高の仲間たちと優勝できてうれしかったです」と話した。

モリシア杯写真展 11月中旬開催予定

球写真展」を11月中旬から開催する予定。大会には16学校区から13チームが参加。熱戦が繰り広げられた。モリシア津田沼では、懸命にプレーした球児たちや仲間を応援する姿

などが700枚以上の写真で紹介される。

